

報道関係者 各位

2022. 1. 18
<配信枚数2枚>

■オンラインシンポジウムのご案内■
中学・高校年代の女性アスリートを取り巻く環境とは
「次世代型女性ジュニアアスリートのスポーツ傷害予防に向けて」

日 時：2月12日（土） 14：00～16：00

開催方法：Zoom ウェビナー

立命館大学は、中学・高校生年代の女性アスリートのパフォーマンス向上とスポーツ傷害予防について考えるシンポジウム、「次世代型女性ジュニアアスリートのスポーツ傷害予防に向けて」を、2月12日にオンラインで開催いたします。

女性アスリート(とりわけジュニア)において、正しい医学的知識を得るチャンスはそれほど多くはありません。日本は海外に比べ女性アスリートに対する効果的な育成や支援のあり方についても、まだ研究・開発の途上にあります。

現在、スポーツ庁では、女性アスリートの活躍に向けた支援や、ジュニア層を含む女性アスリートが健康でハイパフォーマンススポーツを継続できる環境を整備するため、「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」(※)を進めており、本学も参加しています。

本シンポジウムでは、ジュニア期にあたる中学・高校生年代の女性アスリートのスポーツ傷害予防やコンディショニング方法の知見を発信します。女性特有の問題に関して産婦人科医による講演やスポーツ傷害の予防的観点から理学療法士による事例紹介、パネルディスカッションを通して、ジュニア層を含む女性アスリートが健康で充実した競技生活を送るきっかけになれば幸いです。

記

- 日 時：2022年2月12日(土) 14:00～16:00(13:30 ログイン開始)
開催形式：Zoom ウェビナー
登壇者：能瀬 さやか(東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 産婦人科医)
江玉 睦明(新潟医療福祉大学 理学療法学科 教授)
栗原 俊之(立命館大学総合科学技術研究機構 准教授) ほか
対象：スポーツ傷害予防やコンディショニングに関心のある方をはじめ、どなたでもご参加いただけます。
参加費：無料(事前参加登録制・定員1,000名)
申込方法：以下のURLからお申し込みください。
<http://www.ritsumeai.ac.jp/shs/news/article.html/?id=612>

※詳細は別紙をご覧ください。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL. 075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeai.ac.jp

別紙

オンラインシンポジウム タイムスケジュール

14:00～14:05 開会挨拶・講演者紹介

上田 憲嗣(立命館大学 スポーツ健康科学部 准教授)

14:05～14:45 特別講演 「女性ジュニアアスリートのコンディショニングと傷害予防」

能瀬 さやか(東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 産婦人科医)

14:45～15:10 先進事例紹介 「女性アスリートのスポーツ傷害の特徴と予防に向けた取り組み」

江玉 睦明(新潟医療福祉大学 理学療法学科 教授)

15:10～15:25 本事業紹介 「女性ジュニアアスリートに向けたトレーニングサポートの取り組み」

栗原 俊之(立命館大学 総合科学技術研究機構 准教授)

15:25～15:55 パネルディスカッション 「女性ジュニアアスリートのスポーツ傷害予防に向けて」

●登壇者

能瀬 さやか

江玉 睦明

栗原 俊之

寺田 昌史(立命館大学 スポーツ健康科学部 講師)

●モデレーター

伊坂 忠夫(立命館大学 スポーツ健康科学部 教授)

15:55～16:00 閉会挨拶

伊坂 忠夫

(※)スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」について

スポーツ庁が、スポーツ基本計画に基づき、女性アスリートの国際競技力向上に向けた支援や、ジュニア層を含む女性アスリートが健康でハイパフォーマンススポーツを継続できる環境を整備することを目的に、女性アスリートの育成・支援のために実施する事業。令和3年度において、本学のプロジェクトが「女性アスリート支援プログラム」に選定されました(継続)。

【HPリンク】https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/boshu/detail/jsa_00061.html

【立命館大学が取り組むプロジェクト】

テーマ	ジュニア女子選手のパフォーマンス向上とスポーツ傷害予防トレーニングの創発プラットフォームの構築 -ネットワークを活用した最先端の「知」の共有と次世代型指導者の育成システム-
取組課題	・双方向型ネットワークを活用した学びプラットフォームの構築 ・科学と現場の橋渡し役となるオンラインモニターシステムを活用できる次世代型指導員(トレーニング指導コンシェルジュ)の養成 ・多様な動きづくりトレーニングの啓発と最先端の「知」の共有プラットフォームへの発展

【HPリンク】 <http://www.ic.fc.ritsumei.ac.jp/athlete/index.html>